

【調査の目的・方法等】

- 今後の参考資料とするため、インターネットを活用して、独身者の結婚や出産に関する意識、有配偶者の出産や家庭生活に関する意識を調査。
(有効回答数：独身者調査44,514件、有配偶者調査36,103件)

【独身者調査のポイント】

- 独身でいる理由は、結婚意向のある者（いずれ結婚するつもりと答えた者）では「適当な相手にまだめぐり合わないから」が多く、結婚意向のない者（一生結婚するつもりはないと答えた者）では「結婚するのを感じないから」とする割合が高い。
- 交際経験と結婚意向との間には顕著な関係があり、結婚意向ありの者の交際経験の割合が高いが、交際相手と知り合ったきっかけとしては、男女ともにどの年齢階級でも「職場や仕事の関係で」とする割合が最も高い（図1）。
- 結婚意向のある者の結婚希望年齢は現在の年齢+4～6歳までで概ね8割を占めている。また、女性では、結婚後も出産後も仕事を続けたいとする割合が約半数となっている（図2）。

【有配偶者調査のポイント】

- 有配偶者が持つつもりの子どもの数は2人が最も多いが、持つつもり1人でも理想は2人以上とする者が約6割、持つつもり2人でも理想は3人以上とする者が約2割。
- 持つつもりの子どもの数が理想より少ない理由の1位は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」。持つつもりの子どもの数0人や1人では、欲しいけれどもできないとする割合もかなり高い。
- 持つつもりの子どもの数と、親との同居には一定の関係がうかがわれ、持つつもりの子どもの数が多い者では、親との同居又は近居の割合がやや高い傾向（図3）。
- これまでの移動状況と子どもの数との関係を見ると、「非大都市圏→非大都市圏」の子どもの数が多い傾向（図4）。

図1 交際相手と知り合ったきっかけ（現在交際している異性がいる者）

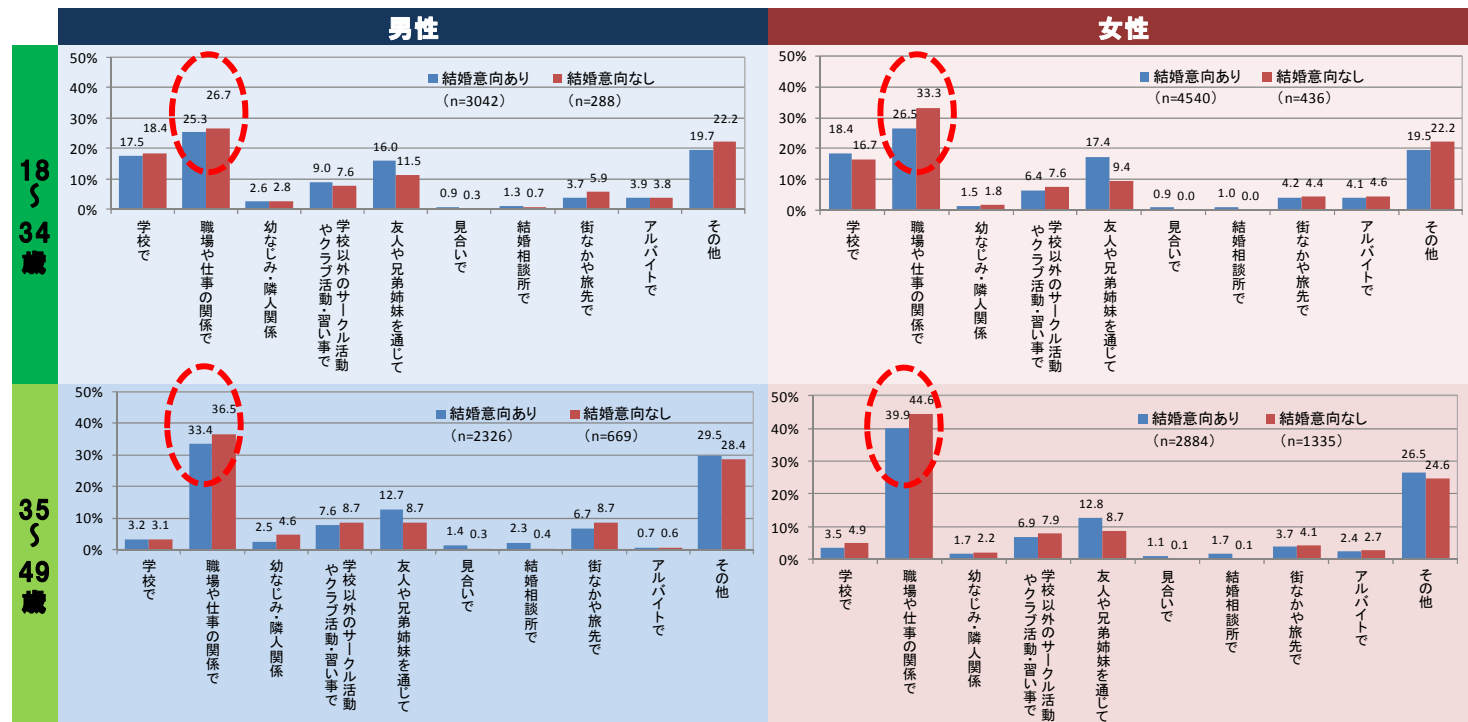


図2 結婚出産後の仕事の意向（結婚意向ありの女性）

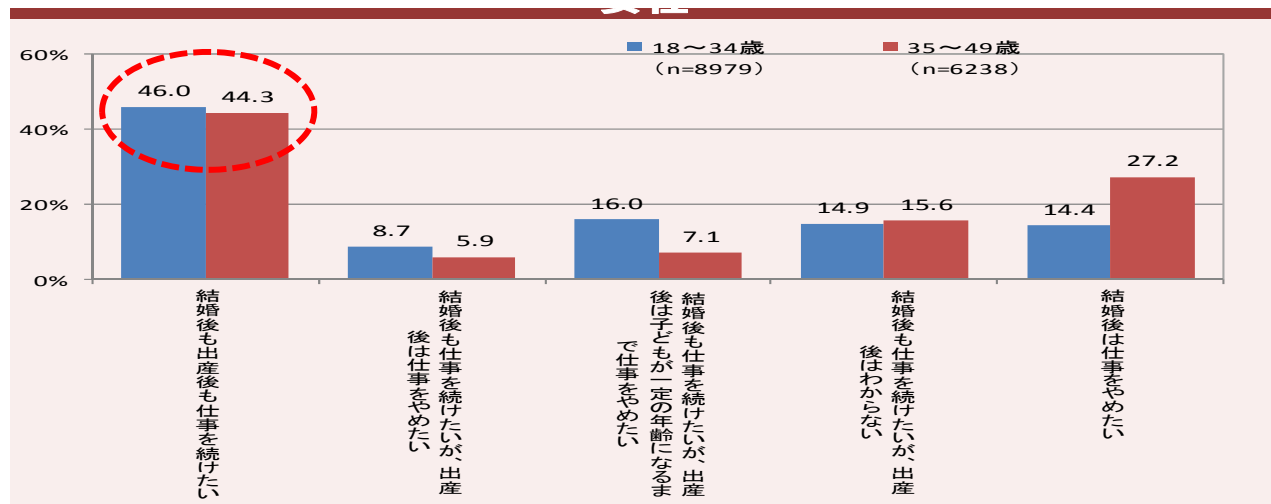


図3 親の居住地と持つつもりの子どもの数（本人の母親の居住地）



図4 これまでの移動と子ども数（結婚持続期間15年以上）

